



校内文化祭では、1年生が調べ学習の成果を、3年生は村の少子化対策について会議風の寸劇を披露。2年生はワークショップの学びをもとにオリジナル劇を発表しました。



# 夢の実現に向かっていく力を! 表現ってこんなに楽しいのだ!

本校の生徒はみな明るく素直ですが控え目でおとなしく、自分の思いを外に出すことが得意な子は多くはありません。ところがワークショップ当日の子どもたちは、表現することにどんどん自主的になっていく様子が見られ、大きな手ごたえを感じました。

教務主任 善方昭博先生



生産者との会話をきっかけに生徒が考案した特産品キャラクター「天栄三銃士」

## ふるさと教育で天栄村の魅力をアピール!

JR東日本大宮駅で地域の魅力とつながる自販機「ふるさとアキュア」の販売第一弾に天栄米が選ばれました(販売は令和7年3月中旬まで)。11/1(金)~11/3(日)には駅構内で「福島県天栄村特産品フェスタ」が催され、天栄中学校の5名が村の魅力全力アピールする場面も。



米や長ネギ、ヤーコンなど特産物の生産者さんや道の駅や役場、事業所の方など村内をはじめ、内堀福島県知事や箭内道彦さん、フリーアナウンサーの幡谷明里さんなど、村外で活躍する皆さんによる特別授業も。



### 先生に聞いた!

**A** 天栄村ならではの総合的な学習の時間のことですか?  
**Q** 天栄中の「ふるさと・夢プロジェクト」って何ですか?

天栄中学校は3年前から総合的な学習の時間を「ふるさと・夢プロジェクト」と題し、地域の人・もの・ことを活かした「天栄村ならではの教育」に取り組んでいます。今回の「表現力育成ワークショップ」はその一環として行われました。子どもたちは中学3年間で発展的に探究的な学習を進めます。1学年は自然や歴史文化などふるさとの魅力発見と調査、2学年は職業体験や地域内外で天栄村に関わりを持つ方の特別授業を通じた学び、そして3学年では2年間の学びをもとに、ふるさとと自分の未来を考えます。

「楽しみながら表現」を楽しめた



参加したのは2学年の生徒たち。互いに誰とでも親しく話せるよう各自がニックネームを決めたら、軽くカラダを動かしてココロをほぐしてウォーミングアップ。俳優の和田聡宏さん、福原冠さん、佐久間麻由さん、演出家の笠浦静花さんによる「表現力育成ワークショップ」がこうして始まりました。

テーマは、生徒たちがそれぞれ披露した「自分の思い出に残るシーン」のなかから、グループごとに一つのエピソードを選んで演じること。パレオールの授業で柱に頭をぶつけて運ばれた仲間の出来事を選んだグループは、「学年全員が知っているこの話を、もっと面白くして演じよう」とアレンジに挑戦。また花火大会の思い出を取り上げたグループは、打ちあがる花火を、床を踏み鳴らして表現するなど、6グループそれぞれが「思い出のシーン」を全力で表現しました。2日目は、講師の指導を受け自分の劇をブラッシュアップ。6つのシーンをつないで全員で一つのストーリーに仕上げました。

教師との関わりでは見られない生徒の素の部分を引き出してもらったと思います。特別支援学級の子たちが輪に入り活躍できたことも嬉しかったです。最後の振り返りで和田さんが感極まってくれたことに私たちも感動しました!

2学年主任/研修主任 西條大樹先生



恥ずかしさや緊張でおとなしくしていた子が、ワークが進むにつれて自分から小道具を借りにきたり、もっと楽しくしようと友達と積極的に意見を交わしたりする姿を見て、2日間でこんなに変わるんだと驚きました。

2学年副担任 佐藤文哉先生



### 天栄村ふるさと夢未来応援事業

プロの役者に学ぶ、楽しんで表現するチカラ。

## 天栄中学校の表現力育成ワークショップ

### みんな良かった!ありがとう!

俳優の考え方やもの見方に触れてもらえたらと思っていましたが、みんなの感受性が豊かで、想像していた以上に「自分なりの表現」を楽しんでくれてビックリ!将来みんなが壁にぶつかった時、この時の記憶がそれを突破するきっかけになってくれたら嬉しいです。村や学校関係者の皆さんがこういう場を作ってくれたから実現できたこと。僕にとってもいい刺激になりました。



令和6年度ゲストティーチャー 俳優 和田聡宏さん

お米のポーズを全身でイメージ!

